

CHIRALCEL OA, OB, OC, OF, OG, OK

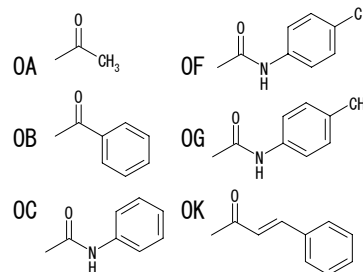
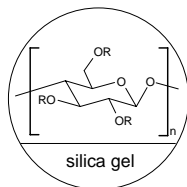
カラム取扱説明書



ご使用の前に必ずお読み下さい

カラムの詳細

カラムエンド : ウォーターズタイプ
 不斉識別剤 : Cellulose derivative
 (シリカゲルコーティング型)
 粒子径 : 10 μm
 出荷時の封入溶媒 : n-ヘキサン / 2-プロパノール = 90 / 10
 (v/v)



不斉識別剤の構造

(カラムは全て出荷前に品質検査を実施しています。検査条件と検査結果およびカラムロット番号は、同封の品質検査レポートをご参照下さい。)

注意:

本カラムを HPLC 装置に接続する前に、必ず装置全体（インジェクターやインジェクションループを含む）を、2 頁目記載の推奨溶媒に従った移動相もしくはカラム保管溶媒に完全に置換して下さい。（特に、オートサンプラーのシリンジやニードルの洗浄液の溶媒置換は見落としがちです。ご注意ください。）装置中に、アセトン、クロロホルム、ジメチルホルムアミド（DMF）、ジメチルスルホキシド（DMSO）、酢酸エチル、塩化メチレン、THF など、HPLC 用の移動相として一般的に用いられている溶媒が、たとえ微量でも混入していると、カラムを破壊する恐れがあります。また、アルカン系の移動相に置換されているカラムにアセトニトリルが混入した場合にも、カラムを破壊する恐れがあります。

カラム使用条件

カラムサイズ (内径×長さ)	4.6 x 250 mm 分析用カラム	10 x 250 mm セミ分取用カラム	20 x 250 mm セミ分取用カラム
通液方向	カラムのタグに明示されています。		
圧力 ^①	カラムを長くお使い頂く為、10MPa（～ 102kgf/cm ² ）を超えない圧力*でのご使用をお勧めします。		
温度範囲	0 ～ 40 °C		

① 圧力とは、カラム自体にかかる背圧の最大値のことです。この背圧は、カラムを HPLC 装置に接続し、通液した場合の系内全体の圧力から、同条件でカラムを接続しない場合の系内全体の圧力を差し引いた値になります。

重要注意事項

- ⇒ **本取扱説明書の内容は、他のダイセルのキラルカラムには適用できません。**
- ⇒ カラムを長くお使い頂くために、専用のガードカートリッジをご使用下さい。
- ⇒ カラムに強い衝撃を与えたり、カラムを分解しないで下さい。
- ⇒ 本カラムの使用に関するご質問、あるいはカラムに関するトラブルについては、キラルヘルプデスク（0120-780-104）または末尾記載の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ⇒ 本書の内容に従いカラムを取扱うことで、カラムを長くお使い頂くことができます。

推奨移動相条件

下記以外の溶媒をご使用になりたい場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

A 移動相

	アルカン ^① / IPA ^② 混合系移動相	アルカン ^① / EtOH ^② 混合系移動相
CHIRALCEL OA, OB, OC, OK	100/0 ~ 0/100	100/0 ~ 0/100
CHIRALCEL OF	100/0 ~ 50/50	使用できません
CHIRALCEL OG	100/0 ~ 50/50	100/0 ~ 80/20

EtOH：エタノール、IPA：2-プロパノール

範囲外の組成比で使用すると、カラムが劣化することがあります。

- ①
- 標準的に用いるアルカンは n-ヘキサンです。
 - それ以外のアルカンとして iso-ヘキサン、n-ヘプタンなどが使用できます。試料とアルカンの組合せによっては選択性に相違が見られる場合があります。
- ②
- 一般に 2-プロパノールよりもエタノールを使用した方が、保持時間が短くなります。
 - 一般にアルコール濃度が高いほど、保持時間が短くなります。

B 添加剤

塩基性または酸性の試料を分析する場合は、右表を参考にして移動相に適切な添加剤を加えて下さい。

第一選択添加剤として、塩基性試料の分析にはジエチルアミン (DEA)、酸性試料の分析にはトリフルオロ酢酸 (TFA) の使用をお勧めします。

③ 主に第一級アミンに効果的です。

塩基性試料用添加剤	酸性試料用添加剤
ジエチルアミン (DEA) n-ブチルアミン ^③	トリフルオロ酢酸 (TFA) 酢酸 ギ酸
通常 0.1% (0.5%以下)	通常 0.1% (0.5%以下)

試料の調製

- 試料は可能な限り移動相に溶かし、0.5µm 程度の多孔質メンブレンフィルターで濾過してからご使用下さい。

カラムの洗浄・保管

- 塩基性、酸性の添加剤を加えた移動相を使用した場合は、使用後速やかに添加剤を含まない移動相に置換して下さい。
- CHIRALCEL OA, OB, OC, OK
アルカン/アルコール (2-プロパノールまたはエタノール) 混合液で洗浄・保管して下さい。
- CHIRALCEL OF, OG
アルカン/2-プロパノール混合液 (100/0~50/50) で洗浄・保管して下さい。
- ☞ CHIRALCEL OA, OB, OC, OK
分離の再現性が得られなくなったときなどカラム洗浄が必要な場合は、100%エタノールをカラム体積の10倍量以上通液して下さい。
- ☞ CHIRALCEL OF, OG
分離の再現性が得られなくなったときなどカラム洗浄が必要な場合は、ヘキサン/2-プロパノール混合液 50/50 (v/v) をカラム体積の10倍量以上通液して下さい。

主要な多糖系キラルカラム 製品一覧

※一覧表に掲載されていないキラルカラムがございます。弊社HPをご覧ください。

カラム名	移動相		粒子径		
	順相	逆相	3 μ m	5 μ m	10 μ m
耐溶剤型 3 μ m 高段数シリーズ	CHIRALPAK IA-3	◆	◆		
	CHIRALPAK IB-3	◆	◆		
	CHIRALPAK IC-3	◆	◆	◆	
耐溶剤型 5 μ m Iシリーズ	CHIRALPAK IA	◆		◆	
	CHIRALPAK IB	◆		◆	
	CHIRALPAK IC	◆		◆	
	CHIRALPAK ID	◆		◆	
順相用 3 μ m 高段数シリーズ	CHIRALPAK AD-3	◆		◆	
	CHIRALPAK AS-3	◆		◆	
	CHIRALPAK AY-3	◆		◆	
	CHIRALCEL OD-3	◆		◆	
	CHIRALCEL OJ-3	◆		◆	
	CHIRALCEL OZ-3	◆		◆	
順相用 5 μ m Hシリーズ	CHIRALPAK AD-H	◆		◆	
	CHIRALPAK AS-H	◆		◆	
	CHIRALPAK AY-H	◆		◆	
	CHIRALPAK AZ-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OD-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OJ-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OX-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OZ-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OB-H	◆		◆	
	CHIRALCEL OC-H	◆		◆	
逆相用 3 μ m 高段数シリーズ	CHIRALPAK AD-3R		◆	◆	
	CHIRALPAK AS-3R		◆	◆	
	CHIRALPAK AY-3R		◆	◆	
	CHIRALCEL OD-3R		◆	◆	
	CHIRALCEL OJ-3R		◆	◆	
	CHIRALCEL OZ-3R		◆	◆	
逆相用 5 μ m RHシリーズ	CHIRALPAK AD-RH		◆	◆	
	CHIRALPAK AS-RH		◆	◆	
	CHIRALPAK AY-RH		◆	◆	
	CHIRALPAK AZ-RH		◆	◆	
	CHIRALCEL OD-RH		◆	◆	
	CHIRALCEL OJ-RH		◆	◆	
	CHIRALCEL OZ-RH		◆	◆	

分取用途として、20 μ mの充填剤を充填した大型カラム（内径 50mm）もご用意しています。

各キラルカラムの詳細については、
弊社ホームページ (<http://www.daicelchiral.com/>) を併せてご覧ください。

CHIRALCEL, CHIRALPAK, CROWNPAC は、株式会社ダイセルの登録商標です。

株式会社ダイセル

CPI カンパニー : 〒108-8230 東京都港区港南 2-18-1 TEL: 03-6711-8222 FAX: 03-6711-8228
 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5 TEL: 06-6342-6161 FAX: 06-6342-6168